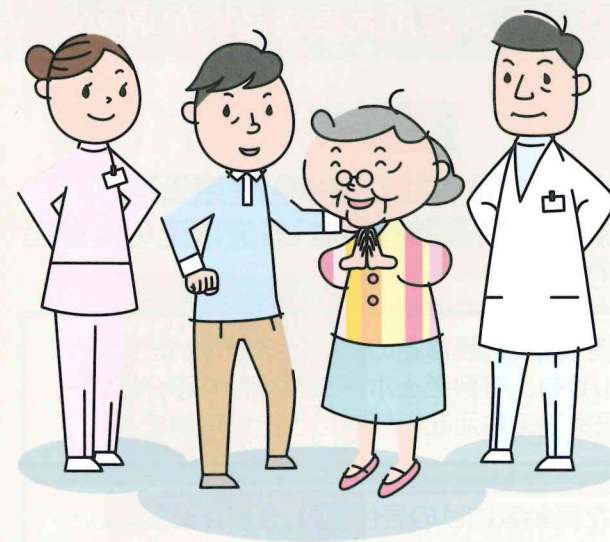


福祉や介護現場で働く人、インタビュー!

# 介護 人のチカラ



熊本県内の福祉や介護の現場でイキイキと働いているみなさんにインタビュー。お仕事の内容や、仕事に対する思いについて聞きました。

## 質の高い看護を提供しながら 総合的なアセスメント力を高めていきたい

病院勤務を経て、訪問看護の世界に飛び込んだのが、今から13年前です。現在、県看護協会の「訪問看護ステーションくまもと」の管理を任されています。新規の利用者への説明に加え、看護師の配置、人事、電話相談を受けるサポートセンターの業務などを行っています。管理者として大切なのは、利用される方の状態や要望に応じて、それに合った専門性を持つ看護師を適切に配置することです。

私たちの仕事は、的確な判断と行動力が求められます。常に利用者の方の声に耳を傾け、ご家族まで含めたサポートも必要です。それには豊富な経験はもちろん、日進月歩の医療に関する知識を日々積み上げていかなければなりません。

社会的な動向を見極め、質の高い看護を提供しながら、総合的な「アセスメント力」を高めていくことで、訪問看護全体の底上げにつながるよう努力していきたいと思っています。



訪問看護全体的の底上げを  
訪問看護ステーションくまもと管理者  
木下 弘子さん

現在、6人の常勤スタッフと、8人の非常勤スタッフを束ねる木下さん。「何でも相談できる風通しのいい職場環境作りが大切です」



熊本県看護協会  
訪問看護ステーションくまもと  
☎096-365-1323  
熊本市東区花立5丁目-14-17

どんな仕事を  
しているの?  
訪問看護ステーション管理、  
電話サポート協力員



結果が出せる理学療法士であり続けたい

理学療法士  
センター長 吉橋 謙太郎さん

## 運動機能の維持ではなく、 回復・改善を目指したリハビリを提供

2013年4月にオープンしたデイサービスで、理学療法士として、利用者の方のリハビリ指導に当たっています。団塊の世代の方が、介護保険を利用される年代に入り、デイサービスに求められるニーズも急速に変化しつつあります。特にこの世代の方は、多様なライフスタイルを楽しみ、自分をしっかり持っている方が多く、これまで通りのリハビリでは満足されないというのが実感です。このため、大学で研究された最新の脳科学をリハビリに応用するなど、運動機能の維持ではなく、回復・改善を目指すことに力を注いでいます。

利用者やご家族の笑顔がいちばんのやりがいと感じる毎日です。これからも「また旅行に行きたい」「孫に会いに行きたい」といった希望や目標を確実に達成し、歩行にこだわり、質の高い歩行の獲得をしていただけるよう、常に研鑽を重ねていきたいですね。

どんな仕事を  
しているの?  
リハビリ指導

歩行リハビリセンター  
Hokoru(ホコル)  
☎0120-949-856  
熊本市東区月出2丁目4-42

ベルトを使ったトレーニングなどのフィットネス機器も使用しながら、1人1人に合ったオーダーメイドのリハビリを行う



誰もが安心して暮らせる社会に!

熊本県医療ソーシャルワーカー協会  
会長 加来 克幸さん

## 協会発足50周年。専門職としての資質の向上と、 社会的地位の確立をめざして――

熊本県医療ソーシャルワーカー協会は、昭和38年に発足し、今年50周年を迎えました。私たちMSW(医療ソーシャルワーカー)は、病院などの保健医療の場において、社会福祉の専門性を活かし、療養中の患者さんやご家族の抱える経済的・心理的・社会的問題の解決や調整を援助し、社会復帰を支援しています。

近年、保健医療の現場では、さまざまな専門職種の協働による『チーム医療』へと変化しています。その中で、MSWは患者さんご家族の想いに耳と心を傾け、治療から地域生活へ安心して移行できるようにとつないでおり、MSWが、チームの一員として加わることへのニーズは、益々高まっています。当協会では、そのようなニーズに対応するため、定例の研修会や講座の実施、情報交換などを行い、MSWの資質と技術の向上に努めています。また、協会通信の発行や県内外の関係団体との連携・協力・交流を行いながら、MSWの社会的地位の確立と普及・啓発にも力を入れているところです。

私たちは、誰もが安心して暮らせる社会に向けて、これからもつなぐ、つなげる専門職として活動をしていきたいと思っています。

どんな仕事を  
しているの?  
MSWの普及・  
啓発活動

熊本県医療  
ソーシャルワーカー協会  
☎096-380-7011  
熊本市東区戸島2丁目3-15

協会の第50回総会及  
び研修会

